

第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画 概要版

計画の必要性

- 「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」策定時に想定した人口と実状では大きな差がある状況です。 ※約36万人(想定人口)→ 約39万6千人(平成28年度推計人口)
- 豊中市伊丹市クリーンランドのごみ焼却処理施設には「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」策定時の計画量(約100千t/年)を上回るごみが搬入されており、余力を持って処理することが困難な状況にあります。
- 最終処分先である大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立処分場については、安定的な最終処分場を確保するため、延命化を図る必要があります。
- 近年頻繁に発生する自然災害への対策の強化が求められています。

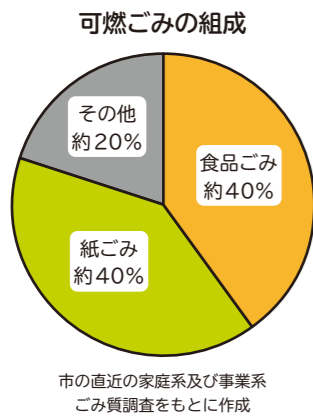
このような ↓ 状況を踏まえ

「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」を策定

計画策定に当たっての課題の整理

- 1 ごみ焼却施設で余力を持って処理できる量を上回るごみの搬入
- 2 少子化・高齢化の急激な進行による地域コミュニティの変容
- 3 発生抑制・再使用を推進するための、市民・事業者・行政の三者による協働の促進
- 4 家庭系・事業系ごみの減量の推進(食品ごみ・紙ごみ等)
- 5 リサイクルと適正処理に適した分別収集体制の拡充
- 6 安定した中間処理施設等の運用

家庭系・事業系ごみの減量の推進(食品ごみ・紙ごみ等)の取組み例



食品ごみ

- 手つかずのまま廃棄される食品などの食品ロスの削減
- 食べ物を大切に活動としてフードドライブの実践や仕組みづくり
- 食品ロスに係る周知
- 飲食店等での食べ残しを削減する取組み→豊中市エコショップ制度の活用

紙ごみ

- ライフスタイルの変化等に対応し、雑がみを含めた古紙類等の多様な再生資源回収システムの構築
- 大規模集合住宅が増加する中、再生資源回収の活性化を図る
- 小規模事業所の古紙等の分別排出の促進

豊中市ごみ減量PRイメージキャラクターリサビット



基本計画

基本理念

協働で取り組む循環型社会の構築

基本方針

循環型社会の構築に向けた取組みを進めます

基本施策

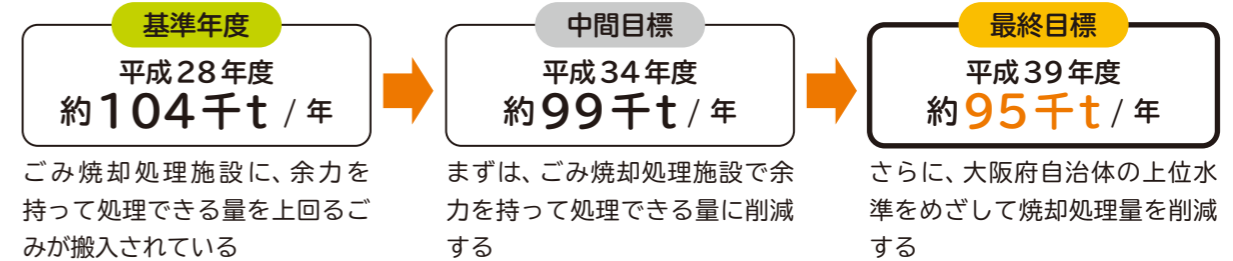
- 1 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進
- 2 廃棄物の適正処理の推進
- 3 美しいまちづくりの推進
- 4 災害廃棄物の適正処理

減量目標と個別目標



減量目標

ごみの焼却処理量を平成39年度(2027年度)には平成28年度(2016年度)実績より**8%**削減



個別目標

減量目標達成を目指し、減量目標を達成するための個別目標を設定

